

原子力発電所の物量等 (100万kW級)

熱交換器	140基	「長期停止した炉を再起動するというのは、新設炉を立ち上げるときよりも、むしろ大きな懸念がある」 <small>(更田委員長代理、原子力規制委員会・発電用軽水型原子炉の新安全基準に関する検討チーム第13回会合、2013年1月31日)</small>
ポンプ	360台	
弁	30,000台	
モーター	1,300台	
計器	10,000個	
配電盤	1,200面	
配管	10,000トン、170km <small>(およそ東京から静岡県清水までの距離)</small>	
ダクト	41,000m ²	
サポート類	4,000トン	
溶接点数	65,000点	
モニタ	20,000カ所	
ケーブル長さ	1,700km <small>(およそ青森から下関までの高速道路距離)</small>	
広さ	10,000～22,000m ² <small>(東京ドームのグラウンド面積ぐらい)</small>	
原子炉建屋の高さ	80m	
原子炉圧力容器	700トン	
タービン・発電機	11,000トン	
部品点数	1000万個	
工事最盛期の人員	3,000人/日	
工事期間	4～5年	※以上、BWRとPWRを平均した。